

# 耕作放棄地解消モデル実証ほ取組成果報告書

## 1. 取組主体

北塩原村耕作放棄地解消対策協議会

## 2. 受託者

桧原遊休農地解消組合 組合長 佐藤正義

## 3. 実施箇所

北塩原村大字桧原字中荒木山 1141-44 外1筆

## 4. 面積

38a

## 5. 試験栽培作物

そば（会津のかおり）

## 6. 内容

・北塩原村の高冷地（桧原地区）でそば（会津のかおり）が従来の桧原そば（在来種）と比較した場合どのような結果が得られるか実証するものである。また、この結果をもとに桧原地区でも会津のかおりを普及促進できるのかもあわせて判断するものである。

## 7. 現地状況

・平成20年度耕作放棄地全体調査及びフォローアップ調査において直径5～20cm程度の雑木が数十本あり、また、萱が繁茂し、直径数十cm台の石も数多くあるため、「黄」と判断した。

【解消前】



【解消後】



## 8. 比較事項

項目	桧原在来種	会津のかおり	備考
草丈	60～80 cm	60～80 cm	
実の色	茶色が多い	在来種より黒い	写真添付
実の大きさ	3～4 mm (大小さまざま)	3～4.5 mm (粒が均一)	写真添付
実の重さ	10g 当り 413 粒 (1 粒当り 0.024g)	10g 当り 341 粒 (1 粒当り 0.029g)	写真添付
粉の状態	白色	白色	どちらも見分け 出来ない
実入り	良い	非常に良い	
収量 (反収)	10a 当り 55 kg	10a 当り 50 kg	場所により差が 生じた
粉の粘り気	普通	強い	
香り	強い	普通	個人差が生じる

## 9. 経営相談、指導、マーケットリサーチ活動等

- ・ 県会津農林事務所喜多方農業普及所に土壌診断解析依頼、技術相談や現地で指導及び調査も行った。
- ・ 会津のかおり品評会に出品したが平野部のものとあまりかわらなかった。
- ・ 口コミ、地元新聞に記事を掲載されたことにより村外からの問い合わせが多数寄せられた。
- ・ 県が主催する耕作放棄地関係の研修会に組合員が参加し、他の団体の取組事例について学んだ。

## 10. 加工品試作・試験販売活動等

- ・ そば粉（1袋2kg入）の試験販売、蕎麦ようかん、そばがきの試食・販売。
- ・ 11/19 組合員による収穫したそばの試食会の実施したところそばの風味は在来種との区別がつかなかった。
- ・ 東京都で開催（12/19）された「ほっとする、ふくしま。大交流フェア」においてそば粉、蕎麦ようかん、そばがきの試食会・試験販売を行った。

# 事業効果

この高冷地でも在来種のそばと同等の収量、風味が得られることが分かった。  
今後は、在来種と交配しないよう配慮しながら会津のかおりの普及拡大を図りたい。



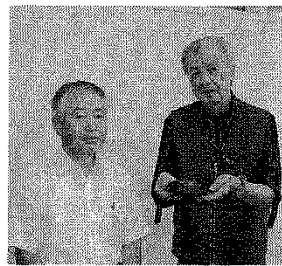
# ズムズム 特産

わがまちの戦略

▷173◁

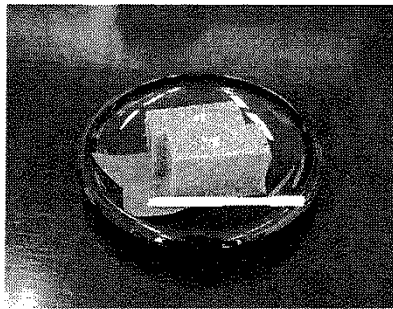
内各種団体が、思い思いの作りを盛んにしたといわれ、農閑期の副業として発

岩佐さん(右)と佐藤組長



たことから  
岩佐さん  
は前々から  
そばを使っ  
たスイーツ  
を考え研究  
していたと  
ころに、地  
元の農業者  
の佐藤和光  
さんから

「地元のはそばを使って何  
か出来ないか」と相談を受  
けた。



話題の「そば羊羹」

北塩原村では昨年、  
村内の遊休農地をなんとか  
したいと、松原遊休農地解  
消組合(佐藤正義組長)  
がソバを作付けし、出来た  
そば粉で作ったそばスイー  
ツが誕生して、話題になっ  
ている。その名も「そば羊  
羹」。

## そば羊羹

## 地元そば粉で新スイーツ

### 古民家購入、開業の店主考案

そば粉をふんだんに使  
い、固めるのに役立つとい  
るのがルチン成分。程よい  
ぬめりが功を奏した。少量  
のごしあんを混ぜて程よい  
甘さを醸し出す。

意義なものにしたいと、松  
原地区の古民家を9年前に  
買い、「蕎麦古家(そばこ  
や)」(☎0241・341・341)と  
の要望が多かつ

た。岩佐さんは、その地元の  
そば粉を使って昨年から本  
格的に商品化に取り組ん  
だ。

12月には東京でのフェア  
に出展する予定で、そば粉  
を使った新たな商品も考案  
中だ。

# 福 島

福島県支局  
福島県議  
農業会議  
024(524)1201

地域の担い手として  
経営を発展させよう

## ふもやま農声



め国際結婚者12人、浅和定  
次村長、松井登喜也協議会  
長、渡辺一郎前協議会長が  
出席。母国の中国語で「日  
本語でケンカされるからお  
嫁さんは大変」と談笑し、  
カラオケも楽しんだ。  
松井会  
妻を中心  
とけ込んで  
ひ家族の  
い」と話  
(大玉村  
員)

出荷の  
アルス  
湯川  
湯川村の  
(36)のハ  
トロメリア  
迎えている  
東方面へ出  
は2千本を

遊休農地を再生  
放牧豚出荷めざす

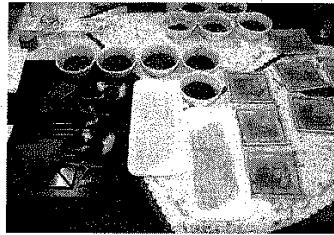
(尙降矢農園  
降矢敏朗さん)

カイワレ大根などのマ  
ト(植物の新芽)野菜を  
する(尙降矢農園で、昨  
牧養豚を始めた。

同農園がある郡山市  
は、かつては養蚕地帯が  
「周囲を見回したら荒廢  
多さに改めて驚いた」と  
降矢敏朗さん(59)。

沖縄や北海道の視察を  
持ち、昨年10月、農園前

# 「松原そば」風味、見た目よし



松原そばを使った  
さまざまな商品

耕作放棄地を整備して  
昨年からはソバ栽培に取り  
組んでいる北塩原村の松  
原遊休農地解消組合の事  
業が、順調に進んでいる。  
十九日には収穫した「松  
原そば」の試食会を開い  
た。松原遊休農地解消組  
合は昨年二月に結成さ  
れ、北塩原村松原高層根

## 北塩原の生産者

地区の整備を進めてい  
る。対象地域は、かつて  
高層ダイコンなどを栽培  
していた畑で、連作障害  
などから耕作が放棄さ  
れ、荒地地になっていた。  
組合員は佐藤正義組合  
長ら九人。雑木が生い茂  
り、石が混ざった土地を  
懸命に整備し、畑に戻す  
努力を続けている。  
約三十年間も放置され  
ていたため、開拓  
と組合員が表現するほど  
の大変な作業。初年度は  
〇・五畝を整備し、今年  
度は一・七畝にまで拡大  
した。松原で昔から栽培  
している「松原そば」と  
県が開発した「会津のか

## 試食会で好評、地域活性化に活用へ



風味豊かな松原そばを味  
わう組合員

おり」の二品種を栽培し  
ている。収量は初年度が  
約百kg、今年度が七百三  
十kgだった。  
十九日の試食会は同村  
のたばこ屋旅館で開かれ  
た。組合員の一人で村内  
でそば店・蕎麦古家を営  
む岩佐哲次さんが二品種  
〇15へ。

のそば粉を使ってそばを  
打った。ともに風味があ  
って好評だったが、特に  
松原そばについては「素  
晴らしい味」「見た目も  
きれい」などと極めて高  
い評価だった。松原そば  
を使ったようかん、ぜん  
ざい、ずんだ団子、すい  
とん鍋なども味わった。  
佐藤組合長は「みんなの  
おかげで夢のような畑に  
なった。そばのおいしさ  
をPRして活性化につな  
げたい」と話している。  
そば粉は二kg三千円で  
販売している。問い合わせ  
せは事務局の佐藤和光さ  
ん 電話0241(34)2



北塩原村の特産品をPRした  
組合員ら

## 東京で北塩原もPR

ふくしま  
フアア 特産品の試食・販売

十九日に  
東京都で開  
かれた「ほ  
ことする、  
ふくしま。  
大交流フェ  
ア」では北  
塩原村の松  
原遊休農地  
も同行した。

解消組合(佐藤正義組  
合長)なども参加し、  
地元の特産品をPRし  
た。

同村松原地区で収穫  
されたそば粉や、蕎麦  
(そば)、ようかん、そ  
ばがきの試食・販売を  
行った。そば粉などは  
完売した。村職員や会  
津山塩企業組合関係者